

# 政治思想史ゼミナール

教 授 中神由美子

## 〈ゼミナールの目的・到達目標〉

このゼミナールは、政治学や政治思想史の知識を獲得するだけでなく、政治学的な「思考方法」、考え方の基本を身につけることを目的としている。従って講読する文献は、狭い意味での政治学的なそれに限らず、広く歴史、哲学、思想、教育などを含め、「人間とは何か、社会はどうあるべきか」という問いに関わるものとなる。政治学は、古典古代以来の伝統において、そういった問いと切り離せないからである。文献は、時代的にも、古典古代から現代に至る可能性がある。良書を読むことを通じ、知識を持ち、読解力をつけ、自分の頭で考え、判断し、行動できるようになることをめざす。

## 〈ゼミの内容、進め方〉

読解する文献は追って指示する。基本は、まず何よりも、良書をじっくり読解すること。書物を「読む」、理解することは、簡単そうに見えて、実は奥が深い。めまぐるしくうつりゆく現代社会の中で、人類が長らく読み継いできた書物を注意深く、かつ掘り下げて読む機会を持つことは、大学生に与えられた特権である。それは、自分の視野を広げ、生きていくベースとなる力である知力や構想力、判断力を蓄えることとつながる（「知は力なり」）。そのことをゼミ生各自が体得し、その上で自分の理解を他の人に伝えるため、毎回、マップを作成し、プレゼンテーションを行う。ゼミ生は自分のマップと比較しつつ、報告者に対し、その理解や報告がより良くなるようなコメントを与え、全員で内容の議論を行う。

## 〈ゼミの年間スケジュール〉

（例：3年生の場合。2年生はゼミ大会報告に参加はしないが出席する）

新ゼミ生歓迎会 --球技大会 --夏休み前の個人面談 --夏休みの課題 --ゼミ大会に向けてのスケジュール作り --ゼミ大会（11月） --年間総仕上げのレポート提出、打ち上げ会、個人面談

## 〈成績評価〉

毎回の出席、テキスト読解を含めた報告（プレゼンテーション）、コメント、議論への貢献、課題図書を読破、レポートなど、主体的にゼミに参加する姿勢を全体的に評価。

## 〈求められるゼミ生像〉

社会や歴史についての基本的知識や関心を持ち、自らを陶冶cultivate（＝耕す、教養を持つ）するために、自発的、積極的に学ぼうとする学生。

## 〈選抜方法〉

提出書類による。①このゼミを志望する理由と簡単な略歴

②斎藤孝『読書力』（岩波新書）と 内田樹『先生はえらい』（ちくまプリマー新書）の2冊のレポート

## 〈募集人数〉

10名程度

## 〈教員からのお知らせ〉

連絡事項がありますので、合格後、自分のメールアドレスを3年ゼミ長と副ゼミ長に送ってください。掲示に注意してください。

なお、メールを送るときは、必ず、件名に「新ゼミ生〇〇（名前）」と入れてください。